

---

# ミゲールとぶうたんの物語 ～番外編「レゴでお城を建てよう!」の巻き～

アストン・ヴォルテクス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ミゲールとぷうたんの物語 番外編「レゴでお城を建てよう！」の巻き

### 【Nコード】

N6590Y

### 【作者名】

アストン・ヴォルテクス

### 【あらすじ】

一切説明なしのキャラが直々に説明をする、ミゲぷう物語番・外・編！パート１（ワン） 優勝は誰の手に！？ さあ、開幕だ！！！！

1：始まり始まり。(前書き)

ちよいと気持ち悪い発言あります。

そして、あらすじにも書きましたが、キャラのセリフだけでやっていきます。

そう、いわゆるアニメ的な？

まあ、どうぞ！

1: 始まり始まり。

パンパンパン！

[illegible]

宮本「さあよってらっしやい！見てらっしやい！！

今回はミゲルとぷうたんがレゴでもの作っちゃいます!!!  
 お題は・・・『王族が満足しそうな大きなお城』です! さあさあ  
 とっても楽しいよ!!!

なんと、このルールは、全長50mのお城を作るのだ！だが、それにはとっても時間がかかるということだ……この俺、宮本武蔵が天下無双の剣であることをしました！それは、光速でレゴを作ることが出来るという装置を作ったのだ！頭の中で想像したら、それが勝手に作られてしまうということでも便利なものだ！

！また、違和感があれば、そのところだけを直すことが出来る！！

制限時間は2時間だ！これは、細かいところまでやるからこういうタイムにした！そして、両方が出来次第、終了で審査員の人たちに審査してもらおうのだ！！

さて、まずはその審査員を紹介しよう。ではやはりこの人がやらないと！審査員長！そこらのおばはん！」

おばはん「そこらのおばはんやで！あ、間違えんといてな！「そこらの」で名字やで！そして、「おばはん」で名前や。さかいそこらのおばはんは正式の名前なんや！」

宮本「はいありがとうございますそこらのおばはん！ 続いて、副

審査員長あちらのじいさん!!」

じいさん「あちりゃのお・・・じいじいしゅ・・・ん才  
エッ!じゃ・・・」 口からレインボー

宮本「はいありがとうございます。続いて、審査員です。これ  
からの審査員も地位が高い順に紹介するぞ!まずは審査員1、石田<sup>いしだ</sup>  
<sup>みづなり</sup>三成!」

石田「石田三成だ。よろしく頼む。」

宮本「はいどうも。続いて、審査員2、野尾のび太!」

のび太「ドオラエモオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ!!!!!!  
!!!!!!」 (泣)

宮本「はいありがとうございます!続いて審査員3、トサキント!」

トサキント「トサキント!トサキントトサキントトサキント!」

宮本「はい、ありがとうございます。続いて審査員4、ボリマツチヨ!

ボリ「ボリマツチヨ!ボリ・マツチヨでボリマツチヨ!」

宮本「ふあいふあいふあいふあゝ(はいありがとうございます)。続いて、バ  
ビブボ星人!」 あくび

星人「ぼぶば、ばびぶべばびぶべぶ(僕は、バビブボ星人で  
す)。」

宮本「さっきのはただの観客ですね。続いて審査員5、織田ディブ」

ディブ「織田ディブだ。世は、我の手に!!」

宮本「今のは織田信長の友達ですね。続いて審査員6！豊臣秀吉！」

豊臣「我が世間にべからず村長、豊臣秀吉！参る!!!!（私の名前は、豊臣秀吉！行きます!!!!）」

宮本「はい、猿の惑星ですね。次でラストです！審査員7、織田信長!!」

信長「信長より目上がいるとは・・・感服じゃい!!!!!!」  
豊臣に切りかかる

宮本「俺の剣は、天下無双だぜ!!!!!!」 信長を切る。

信長「チーン・・・」 即救急車に運ばれる

宮本「はい、少々ハプニングが起きました。織田信長を除いた、計8名の審査員の皆様に鑑定をします!!そして、申し送れました！俺は司会です！宮本武蔵！俺の剣は、天下無双だぜ!!!!!!」  
剣を振り回す。

宮本「そして、今度は解説の真田幸村！」

真田「真田幸村でございまする!!」

宮本「では、もうそろそろ始まります！まずは『鳳凰の穴』から出てきます、ぷうたん選手！！！」

ぷうたん「ぷうたんや！！！」 両腕を上げてステージに立つ。

宮本「続いては、『蒼竜の穴』から出てきます、ミゲール選手！！出てきてください！！

ミゲール「うおおおおおおおおおおおお！！！！！！！！」 雄叫びを上げて登場

宮本「さあ、まもなく開始時間になります。その前に、意気込みをお願いします！！まずはぷうたん選手！」

ぷうたん「俺は負けへんで！こんなエロリコン（エロくてロリコン野郎のこと）にはな！俺は、主に料理をするところや、食するところなどをやっていくで！」

宮本「ありがとうございます！続いて、ミゲール選手！」

ミゲール「俺はこんな人をからかうことが趣味な男には負けない！俺は主に、王族が住みやすい部屋とか、お城の形、お城の周りの風景などを考えて行こうと思います！」

宮本「ありがとうございます！では、始まりです！！！！！！！」

1：始まり始まり。  
(後書き)

次回！またもやアクシデント発生！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6590y/>

---

ミゲールとぷうたんの物語 ～番外編「レゴでお城を建てよう!」の巻き～

2011年11月20日12時51分発行